

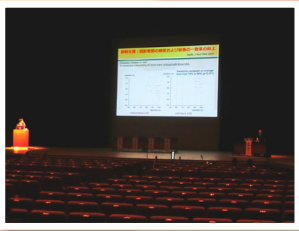


2015年10月2日～3日

国立病院総合医学会

第69回 国立病院総合医学会に参加して

記：事務部企画課入院係 松岡 良



10月2日(金)から3日(土)にかけ2日間開催された第69回国立病院総合医学会に参加してきました。国立病院総合医学会とは、国立病院機構、国立ハンセン病療養所、国立高度専門医療研究センターの各病院が、取り組みや研究結果を口演やポスターセッションにより発表する場です。

今回は「地域でつくる明日の医療～まいにちから、まんいちまで～」をテーマに北海道札幌市の3施設を会場として開催されました。寒い地域での開催ということもあり例年より1ヶ月早い開催でしたが、当日はあいにくの天気で、爆弾低気圧の影響による強い雨風の中、開催されることとなりました。

開会式では、会長、副会長や北海道知事、札幌市長等の挨拶で始まり、引き続き東京農業大学 小泉武夫名誉教授による「発酵の不思議」を傾聴しましたが、とてもユニークな講演で発酵物のメカニズム等を知れ大変有意義な講演でした。

その他にも、化学療法中の患者のQOLや病院における材料比率、人材育成についての講演を聴き、他病院における取り組みや考え方等を知ることができました。また機構本部による「国立病院機構の基本的戦略」の講演では、これまでの機構病院の成果や今後の課題、経営戦略を知ることができました。

今後は、今回の学会を通して得た情報を岩国医療センターへ還元し、より良い病院へ繋げるよう努めてまいります。

なお、次回は2016年11月11日(金)、12日(土)沖縄での開催予定です。



当院から5名が受賞しました！

ベスト口演賞

外科 レジデント：國友 知義

医原性による肝内胆管拡張に伴う胆汁性腹膜炎をきたし、保存的加療後肝切除術を行った1例

ベストポスター賞

看護師：浅原 育美

安全なカテコラミンシリンジ交換方法の確立

検査科 臨床検査技師：藤山 香

治療効果判定に経胸壁心エコーが有用であった転移性右室腫瘍の一例

薬剤部 薬剤師：本田 愛実

実施業務を定めた院外処方箋の検査値提示とその効果について

看護師：石口 弥恵

腎不全患者の食事療法に対するストレス軽減への取り組み
～緑色のランチョンマットを用いた味覚への影響・効果～